



船舶国籍証書
Certificate of Vessel's Nationality

番号 Official Number	198765	信号符号 Signal Letters	JM9999	証書番号 Certificate Number	A1987645	
船名 Name of Vessel	鉄腕丸		船籍港 Port of Registry	兵庫県芦屋市		
種類 Type of Vessel	汽船		総トン数 Gross Register Tonnage	494 トン Tons		
船質 Material of Hull	鋼		造船地 Where Built	大阪府大阪市		
帆船の帆装 Rigging(if a Sailing Vessel)	/		造船者 Name of Builder	土佐堀造船株式会社		
機関の種類及び数 Engines			発動機 1 箇	進水の年月 Date of Launch	平成 17 年 1 月	
推進器の種類及び数 Propellers			ら旋推進器 1 箇			
船舶法施行細則第 17 条ノ 2 第 8 号の長さ Register Length		船舶法施行細則第 17 条ノ 2 第 9 号の幅 Register Breadth		船舶法施行細則第 17 条ノ 2 第 10 号の深さ Register Depth		
61.94 メートル Metres		13.20 メートル Metres		7.80 メートル Metres		
所有者 Owners	天馬商船株式会社/兵庫県宝塚市武庫川町 7 番 65 号					
<p>この証書に記載された事項はいずれも正確であり、本船舶は日本国の国籍を有することを証明する。 This is certify by the authority of the Japanese government that the items mentioned in this certificate is correct in all respect and that the above-mentioned granted the right to fly the Japanese flag.</p> <p>平成 23 年 11 月 9 日 交付 Date of Issue <u>9, Nov., 2011</u></p> <p>Authority Director of Kobe District Transport Bureau, Ministry of Land,Infrastructure,Transport And Tourism,Japanese Government</p> <p>交付官庁 日本国 神戸運輸監理部長</p>						

(船舶国籍証書裏面)

所有者 Owners	(斜線)			
その他 Others				
検認欄/Verification of certificate				
	検認を行った年月日 Date of verification	船舶国籍証書検認申請期間/Date of application		管海官庁印 Seal
		法定期間満了日翌日から	船舶国籍証書検認期限 Date of next verification	
1	平成 22 年 1 月 14 日	平成 26 年 1 月 13 日	平成 27 年 2 月 28 日	(斜線)
2	平成 27 年 2 月 10 日	平成 31 年 2 月 9 日	平成 32 年 3 月 31 日	
3				
4				
5				
6				
7				
8				

注意/ 船舶国籍証書検認期限又は船舶法第 5 条ノ 2 第 3 項の規定により延期された期日までに、この船舶国籍証書の検認を受けない場合には、船舶法第 5 条ノ 2 第 4 項の規定により、この船舶国籍証書は効力を失うとともに、船舶港を管轄する管海官庁の職権により抹消登録を行う。

Caution/ This certificate shall lose its validity, and the maritime authority shall make the entry of deletion in the registry, in accordance with Paragraph 4 of Article 5-2 of the Ship Law, in cases where this certificate is not verified by the date of next verification or by the date postponed in accordance with Paragraph 3 of Article 5-2 of the Ships Law.

- 備考 1 船舶国籍証書の検認の申請は、法定期間満了日翌日以降に行うことを原則とする。
- 2 「法定期間満了日翌日」とは、船舶法第 5 条ノ 2 第 2 項の期間の満了した日の翌日をいう。
- 3 「船舶国籍証書検認期限」とは、船舶法施行規則第 30 条ノ 2 の規定により指定した次回に船舶国籍証書の検認を受けなければならない期日をいう。
- 4 (丙) 船舶国籍証書付属書I(船舶国籍証書検認期限指定書)の交付は、この証書の検認欄に検認を行った年月日及び船舶国籍証書検認期限を記載したものとみなす。